

令和7年11月26日

【件名】

【注意喚起】邦人被害の窃盗（スリ）事件2件の発生

【ポイント】

- ・アディスアベバ市内で開催されたマラソンイベント開催中、2件の窃盗（スリ）事件について確認（内1件は未遂）。
- ・人混みの中では被害に遭うリスクが高まります。
- ・携帯電話等を狙った窃盗事件、強盗事件は昼夜を問わず発生。
- ・犯罪被害に遭ったときは、すぐに日本大使館へ連絡願います。

【本文】

1 11月23日（日）にアディスアベバ市内で開催されたマラソンイベント開催中に、以下のとおり、邦人が被害者となった2件の窃盗（スリ）事件の発生を確認しています（この内1件は未遂事件）。

（1）第一事案

ア 日時：11月23日（日）午前8時40分頃

イ 場所：リデタ地区、Balcha（バルチャ）病院付近路上

ウ 事案の概要：

被害者は、マラソンイベントのランナーとしてイベントに参加し、Balcha（バルチャ）病院付近を走っていた際、身体の後ろに掛けていたショルダーバッグを身体の前に移し替えた。その際、バッグ付帯のファスナー2個が開放されていることに気が付き、中身を確認したところ、携帯電話が無くなっていることが判明した。

（2）第二事案

ア 日時：11月23日（日）午前10時頃

イ 場所：7キロ地点エチオテレコムミュージックステージ前

ウ 事案の概要：

被害者は大人数でマラソンイベントに参加し、人混みの中、人の流れに沿って徒歩で進行中、左側から近寄ってきた男性（30代・体格の良いエチオピア人風）に話しかけられ、左肩を掴まれ身体を執拗に押された。その間、別の男性（30代・中肉中背のエチオピア人風）が被害者の右側から、ズボンの右前側ポケットのファスナーを開け、ポケット内の携帯電話を窃取しようとした。その際に被害者が気付き、阻止した。その後、加害者は人混みに逆流する形で逃走した。

2 犯罪被害に遭わないために

（1）アディスアベバ市内では、昼夜を問わず歩行中の窃盗（スリ・ひったくり）及び強盗

被害が多発しています。エチオピア人同様、外国人もいつでも標的になり得ます。徒歩移動の際は、常に狙われていると自覚する必要があります。特に早朝・夜間の徒歩移動は避けてください。

(2) 窃盗(スリ・ひったくり)及び強盗事案は、腕を掴む、水や唾をかける、物を売るそぶりで執拗にまとわりつく等して注意を引き、貴重品を盗む手口が殆どです。携帯電話を所持していることが外見上明らかで、身体に結着していない場合は被害に遭う可能性が高まります。財布、携帯電話などの貴重品にはチェーンやストラップを付け、着衣や身体に結着し、外見上他者から見えないようにして携帯するよう努めてください。

(3) 常に周囲を警戒し、接近してくる不審な人物を認めるなど異変を感じた場合はすぐにその場を離れ、街頭の警察官や周囲の人に分かりやすい言葉で助けを求めて下さい。

(4) 相手が銃器や刃物を所持して脅迫してきた場合は、生命の安全を最優先させ、抵抗することなく従って下さい。

3 万が一、犯罪の被害に遭われた場合には、すぐに下記連絡先までご連絡願います。